

平成 20 年度 決算の概要

平成 20 年度の国の予算は、歳出全般の徹底した見直しのもとに編成されましたが、地方財政対策については、総額で前年度比 0.3%、地方交付税についても実質 4 年ぶりの増加となりました。

多くの市民の参画により策定された新総合計画の具現化を最優先に編成された名寄市各会計予算では、市立天文台整備事業、北斗・新北斗団地建替事業、市立総合病院増改築事業、風連地区市街地再開発事業、住宅リフォーム促進助成事業、少子化対策の一環である「こんにちは赤ちゃん事業」などを実施しました。

一般会計の決算総額は、歳入額が 188 億 8,523 万 8 千円、歳出額が 186 億 6,011 万 1 千円で、歳入歳出差引き 2 億 2,512 万 7 千円となりましたが、翌年度繰越財源と財政調整基金による調整によって実質単年度収支が 1 億 1,857 万 6 千円の赤字となりました。

(本文中の決算額は重複分を差引いた決算統計ベースです)

一般会計歳入(単位:千円) 188億8,523万8千円

歳入	金額	比率
市税	3,080,493千円	16.3%
地方交付税	8,059,252千円	42.7%
国庫支出金	2,170,638千円	11.5%
道支出金	926,870千円	4.9%
市債	1,466,100千円	7.7%
諸収入	976,237千円	5.2%
その他	2,205,648千円	11.7%

市税を市民一人あたりに換算すると 99,631 円になります

市債:主に市が長期間借り入れるお金

諸収入:主に市が貸したお金の返済金

歳入決算額は、前年度と比べ固定資産税が増えたものの、市税全体では 2,566 万 2 千円(0.8%)減少となりました。一方歳入の 4 割を超える地方交付税において 1 億 614 万 1 千円(1.3%)の他、国庫支出金、道支出金などが増えたことで、歳入全体では 4 億 1,642 万円(2.3%)の増加となりました。

また、自主財源は 54 億 7,567 万 6 千円で、歳入総額に占める割合で 29.0%、対前年比 1.8%の減少になっています。

一般会計歳出(単位:千円) 186億6,011万1千円

歳出	金額	比率
人件費	3,673,073千円	19.7%
扶助費	1,417,607千円	7.6%
公債費	2,599,841千円	13.9%
普通建設事業費	2,602,012千円	14.0%
物件費	1,881,715千円	10.1%
補助費等	3,235,882千円	17.3%
繰出金	1,845,810千円	9.9%
その他	1,404,171千円	7.5%

歳出決算額は、人件費が1億1,444万5千円(3.0%)の減少となりましたが、普通建設事業費が対前年度比23.7%増えるなど、前年度と比べ全体で3億6,412万8千円(2.0%)の増加となりました。

人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費の割合は41.2%で、投資的経費は14.0%となりました。

【名寄市の財政力は？】

○財政力指数(3年平均) 0.307(前年度0.305) 改善 ※1.0に近いほど強い

○経済収支比率 89.5%(前年度90.6%) 改善

※財政の弾力性を示す、経済的な支出と収入の割合

○実質公債費率 18.8%(前年度18.9%) 改善

※18%を超えると起債借入に北海道知事の許可が必要となり、25%を超えると起債発行が一部制限されます。

○健全化判断比率4指標については、広報なよろ平成21年11月号をご覧ください。

各会計決算総括表

区分		歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計		188億8,524万円	186億6,011万円	2億2,513万円	
特別会計	国保	保険事業勘定 直診勘定	33億3,570万円 1億2,429万円	32億7,215万円 1億2,429万円	6,355万円 —
	老人保健事業		3億2,958万円	3億2,958万円	—
	介護	保険事業勘定	18億7,934万円	17億5,931万円	1億2,003万円
		サービス事業・名寄	6億3,943万円	6億3,943万円	—
		サービス事業・風連	4億3,508万円	4億3,508万円	—
	下水道事業		21億2,688万円	21億2,688万円	—
	個別排水処理施設整備事業		8,306万円	8,306万円	—
	簡易水道事業		4,328万円	4,328万円	—
	公設地方卸売市場		3,801万円	3,801万円	—
	食肉センター事業		1,577万円	1,577万円	—
	後期高齢者医療		2億6,178万円	2億6,178万円	—
	小計		93億1,220万円	91億2,862万円	1億8,358万円
一般会計＋特別会計		281億9,744万円	277億8,873万円	4億871万円	
企業会計	病院事業会計		74億8816万円	76億1,825万円	—
	水道事業会計		5億9,018万円	5億6,182万円	—

※一般会計では、ごみ処理手数料など、歳入歳出の重複と振替など、3億4,361万円を調整しています。

※国民健康保険、介護保険会計では、決算の剰余金を翌年度に繰り越します。これ以外の特別会計は一般会計との調整で収支が一致しています。

※企業会計の決算額に消費税は含まれません。

一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など、行政運営の基本となる会計のことをいいます。

特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からいただいた保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。

す。

平成20年度に行った主な事業

- 市立天文台整備事業 165,114 千円
- 風連地区市街地再開発事業 545,136 千円
- (仮称)地域交流センター整備事業 29,800 千円
- 北斗・新北斗公営住宅建設事業 80,139 千円
- 風連西町団地公営住宅計節事業 168,299 千円
- 19 線道路舗装新設事業 95,641 千円
- 風連智烈布橋改良舗装事業 117,677 千円
- 馬鈴薯貯蔵施設整備事業 70,641 千円
- 真空予冷施設整備事業 22,147 千円
- 住宅リフォーム促進助成事業 32,400 千円
- 認定子ども園整備事業(繰越分) 86,655 千円
- 中心市街地活性化事業 2,249 千円
- 道の駅管理運営事業 12,853 千円

【名寄市の貯金と借金】

貯金にあたるものとしては基金があります。平成 21 年 5 月 31 日現在では一般会計と特別会計合わせて 38 億 7,552 万円の現在高で、1人あたりにすると 12 万 5,344 円。また借金にあたるものが地方債残高で、病院事業などの企業会計や介護保険などの特別会計を含む全会計の総額では 423 億 8,276 万円となっており、1人あたりにすると 137 万 767 円となります。(年度末人口30,919人)

【主な市有財産の現在高】(平成 21 年3月 31 日現在)

- 土地 4,012 万 7,895 平方メートル
- 内山林 2,484 万 7,752 平方メートル
- 建物 29 万 3,409 平方メートル
- 有価証券 3,871 万円
- 債権 3 億 559 万円
- 基金 36 億 55 万円